

「インカ道マチュピチュとナスカ地上絵 12日間」を9月30日～10月11日に行いました。

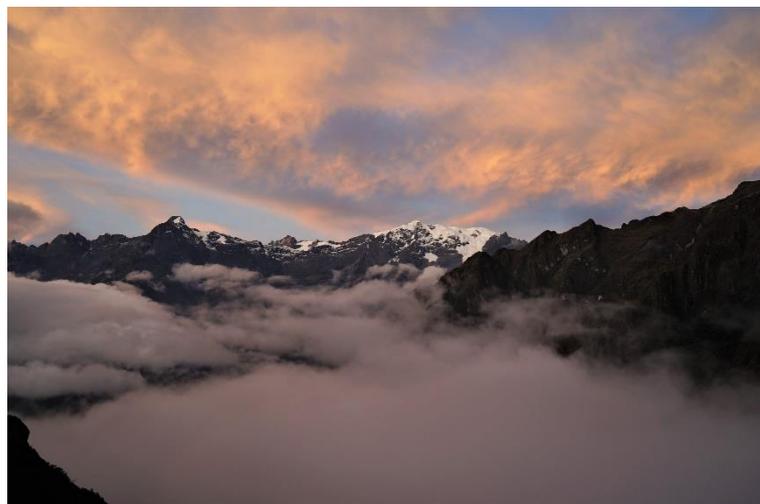
今年の82Km 地点発、3泊4日のインカ道トレックは入山申込み開始日の関係で、何時もの5月から10月実施に変わりました。クスコの9月下旬は雨季でもないのに何故か不安定だったとか。そんな天気の変わり目に私達一行はクスコに到着。最初は、晴・曇・雨と変わりやすい日が続き、いよいよ入山すると2日目の4200m 峠越えから翌日にかけて久しぶりに結構強い雨に叩かれ、苔むす蒼蒼とした雨中のインカ道になりました。強い雨の後は得てして急回復するもので、その後は聖山サルカンタイはじめ四方の山々が姿を現し、そして最終日のマチュピチュ遺跡は大逆転の快晴に。本降りの雨ももたらした慈雨で遺跡の草木は新鮮な緑に変わり、綺麗な姿を纏い、雨中のトレックを忘れさせてくれました。



(マチュピチュ遺跡 10/7日)

○インカ道 I

この地域の気候は雨季と乾季に大別されます。もう少し私的、かつ一方的に分割すれば、9-11月(春)、12-2月(夏)、3-5月(秋)、6-8月(冬)になり、夏が雨季、冬が乾季の中心と言った所でしょうか。10月は5月に比べて若干花は少ないものの気温は少し高め、ただ暖かい分ブヨがおり、油断するとやられますが、小型のせい毒性は余り強く有りません。珍しい出来事として、4200mの峠越えは大雨と高所登山が相まって苦難を強いられました。午後4時過ぎに雨が止み、ガスが切れて夕陽に暮れるペロニカ連山が忽然と現れました。普段でも午後はガスが湧きペロニカの夕焼けは中々見る事が出来ないので感激でした。



(ペロニカ連山 10/4日)



(ワラス塩田)



(インカ時代の石壁 10/1 日)



(サント・ドミンゴ協会 10/1 日)

インカ帝国は何百年も続く大帝国と思われがちですが、実は 1250 年頃に始まり、1533 年スペイン人のピサロがインカ皇帝を捕らえて事実上滅亡するまでの僅か 300 年余りの短命国家です。その間、最盛期は 80 の民族と 1,600 万人の人口をかかえ、現在のチリ北部から中部、アルゼンチン北西部、コロンビア南部に至る南北 4000Km の壮大な地域を支配しました。ところが何故か文字を持たず、車輪を使った道具も有りませ。しかし、左上写真の様に極めて優れた素晴らしい石組の技術を持っていました。

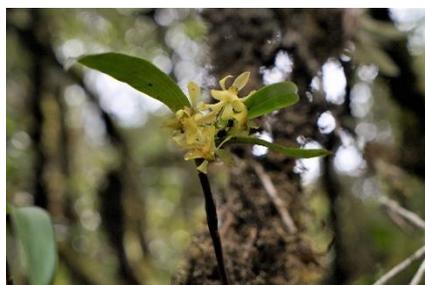
右上写真はサント・ドミンゴ協会、インカ帝国の王宮神殿・コリカンチャにスペイン人が征服者の証として建てた協会です。

○インカ道 II

トレック最終日のプユパタマルカは明方 3 時過ぎまで時折強く降っていた雨が止み、ウルバンバ溪谷が静かに明け始めると天気回復の予感。ポーターの皆さんにお疲れ様のチップを渡し終え、聖山サルカワタイを眺めると、殆ど雲が取れ、その全容が現れていました。7:30 マチュピチュ遺跡に向け標高差 1200m の下山を開始。道中は晴れたり曇ったりの天気でしたが、何故かマチュピチュ遺跡の太陽の門(インティプンク)に差し掛かったところで再び雨に。またも天気には勝てないトレック最終日の午後になってしまいました。



(聖山サルカワタイ 10/6 日)





(ポーター達と10/6日)



(インカ時代の道 10/6日)

○マチュピチ遺跡

6:00 アグアス・カリエンテス村をバスで出発し、遺跡到着後、今年も展望台、日時計を巡りワイナピチュ山の入山ゲートへ。マチュピチ遺跡到着時はワイナピチュ山にガスがかかりスッキリしませんが、私達の入山時間 8:00 には晴れ上がり絶好の登頂日和に。登る事約 1 時間少々で頂から素晴らしい景色を眺める事が出来ました。下山後、サンクチュアリーロッジでバイキングの昼食を取り、再び遺跡見学へ。有意義に時間を使いマチュピチ遺跡を後にしました。

※時の流れでしょうか、至る所に柵や手摺が設けられ、以前入れた所に入れれないのが残念です。



(マチュピチ遺跡 10/7日)





(マチュピチュ遺跡 10/7 日)



(ワイナピチュにて 10/7 日)

○ナスカの地上絵

最終日はペルーの首都リマから太平洋に面する砂漠状地帯を米国・アラスカからチリ・サンチアゴへ続くパン・アメリカン・ハイウエーを使って約 200Km 南下しピスコ空港へ。そこで小型機に乗り換えナスカ地上絵を遊覧飛行しました。筆者は今年も空港場待機で残念ながら搭乗しておりません。



(フラミンゴの群れ、ピスコ近郊)



(日本人入植地の記念碑)

○その他

秋ツアーは台風の動向が気になります。今年はツアーの帰国日と超大型台風 19 号(ハギビス)の日本襲来が殆ど同時。結果的には私達の飛行機がこの台風より 1 日先着し、事な無を得ましたが、ツアー主催者としては身の縮む思いでした。この史上最強クラスの台風で被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます、と共に一日も早い復興を願うばかりです。

今年为天溪ツアーも残すところ 2 つになりました。

アンナプルナ内院 13 日間 11 月 6 日～11 月 18 日

パタゴニア パイネとフィッツロイ 15 日間 11 月 28 日～12 月 12 日

ご期待ください。